

2024年9月期第1四半期 決算説明資料

株式会社キャリア (証券コード: 6198)



CAREER

これからの社会に新しいライフスタイルを。

01		事業概要
02		2024年9月期第1四半期決算概要
03		市場環境及び成長戦略
04		Appendix

会社情報

経営陣^{※2}

財務指標

設立 **2009年**

従業員数^{※1} **308名**

株式会社キャリア: 252名

連結子会社: 56名

代表取締役会長兼社長 川嶋 一郎

取締役 蒲原 翔太

取締役 池田 脩太郎

社外取締役(監査等委員) 岩見 和磨

社外取締役(監査等委員) 舘 充保

社外取締役(監査等委員) 山本 和成

売上高^{※3} **177.9億円**

営業利益^{※3} **6.0億円**

売上高CAGR^{※4} **11.3%**

※1: 2023年9月30日実績(臨時雇用者は含まない)

※2: 2023年12月31日現在

※3: 2023年9月期実績

※4: 2019年9月期から2023年9月期の年平均成長率



高齢化社会のなかで、すべての人々が仕事を通じて社会に貢献し、
生きがいを見つけることのできる世の中の実現を目指します。

我々はあらゆる判断、行動においてこれを大切にし、よりよい社会のため、
ステークホルダーの皆様と一緒に会社を成長させて参ります。

年々加速する高齢化社会を見据え、高齢化社会型人材サービスを創造

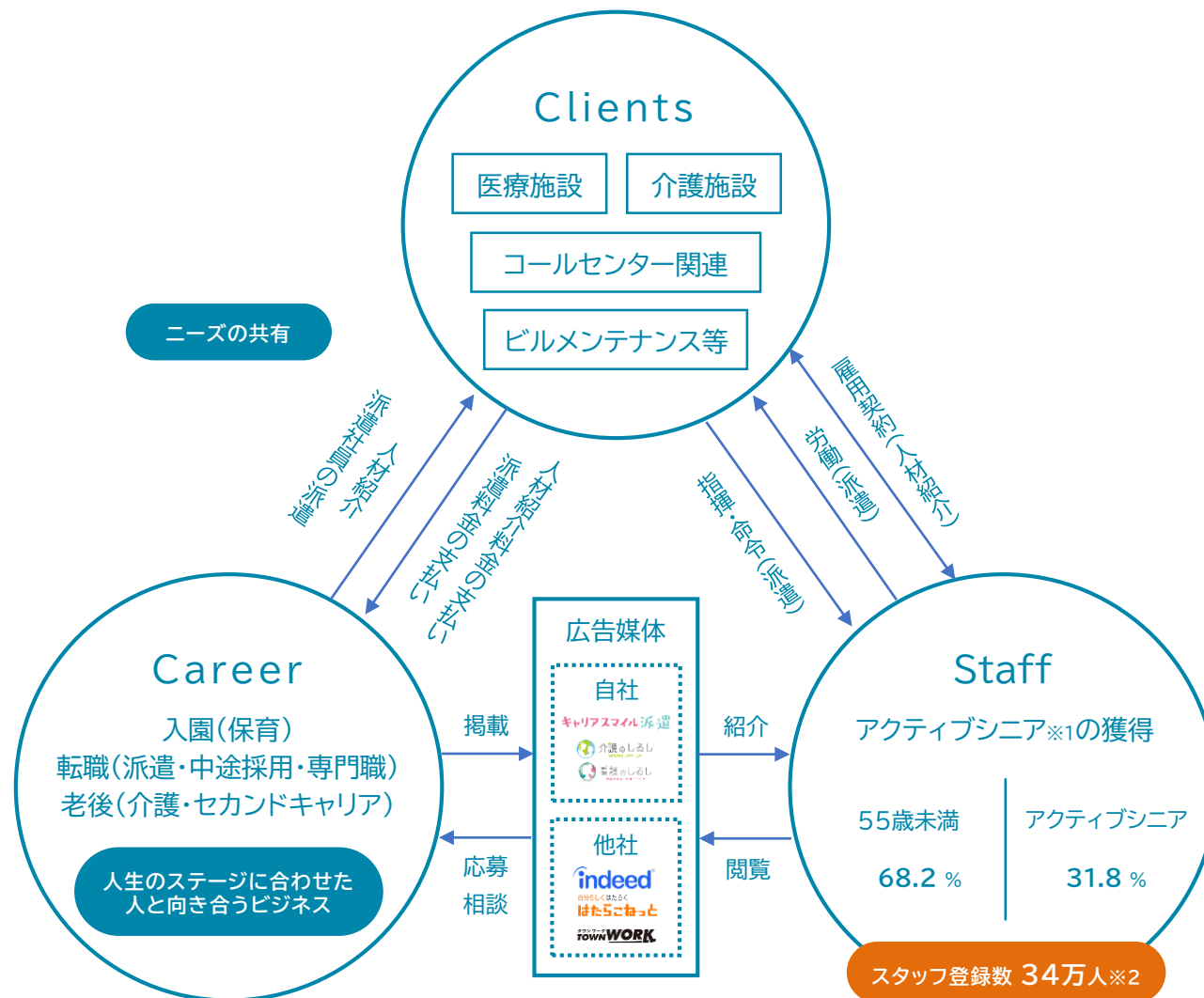
労働人口の減少、 医療・介護市場の人材不足、 人材サービスで課題解決。

Employment opportunities for the elderly

シニアと親和性の高い当社のクライアントを
拡充することで、シニア就業機会を創出

Solving labor shortage

COVID-19などのパンデミックのような突発的な
医療・介護人材の不足発生時においても、社会的使
命をもって対応できる体制を構築



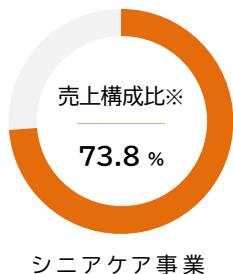
※1 当社では、55歳以上の働く意欲のある人を「アクティブシニア」と定義している

※2 2023年12月31日現在

エッセンシャルワーカー派遣業界トップクラスの実績(介護・看護)

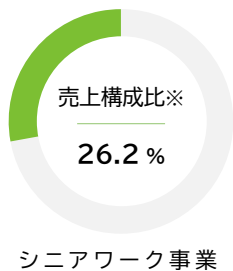
日本では高齢化社会が進行しており、人材市場においては、労働人口の減少、介護市場での人手不足は大きな課題
 「Career」は、2つの課題に人材サービスで応える **高齢化社会型人材サービス企業**

看護・介護・保育における有資格者と施設とのマッチング提案



介護士・ホームヘルパー
看護師
保育士

シニア特性や業務フロー分析に基づいたシニア就労の提案

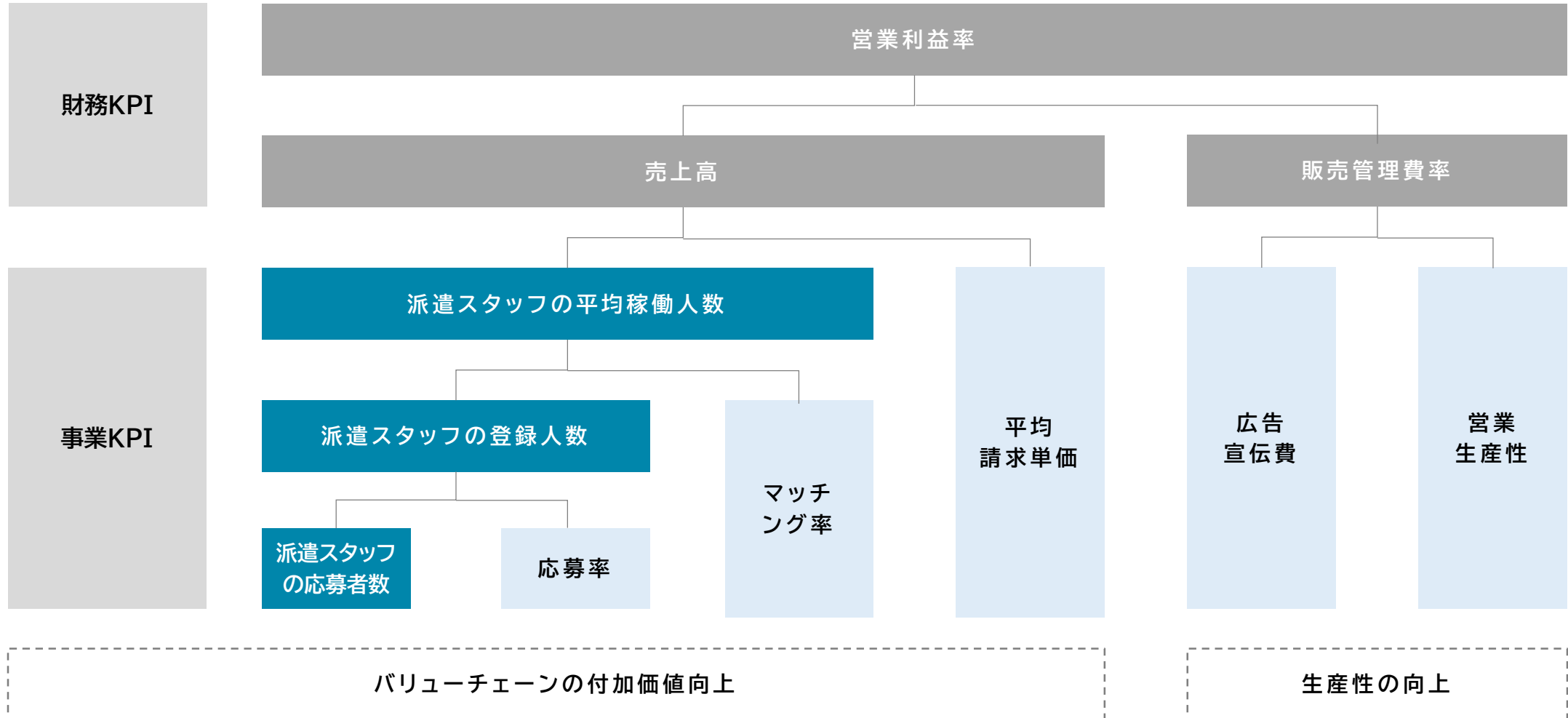


ロジスティックス	コールセンター
ビルメンテナンス	ベッドメイキング
インバウンド関連	請負・業務委託



※2023年9月期実績

Careerの人材派遣事業における財務KPIと事業KPIの構造

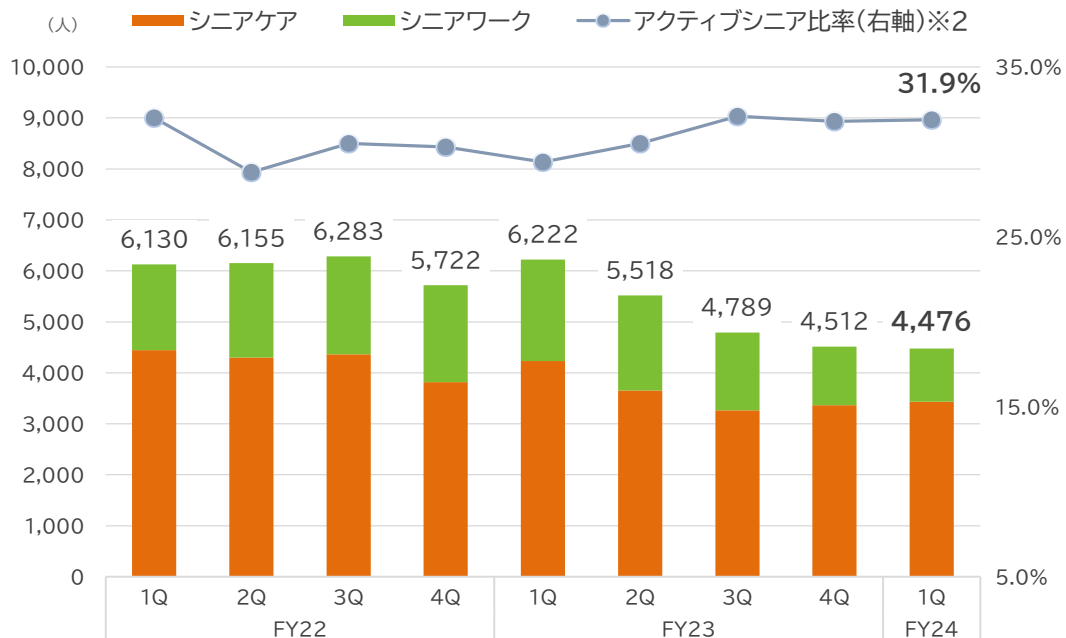


COVID-19発生時は看護師の需要が一時的に高まるも、2023年後半から従来の水準に戻る

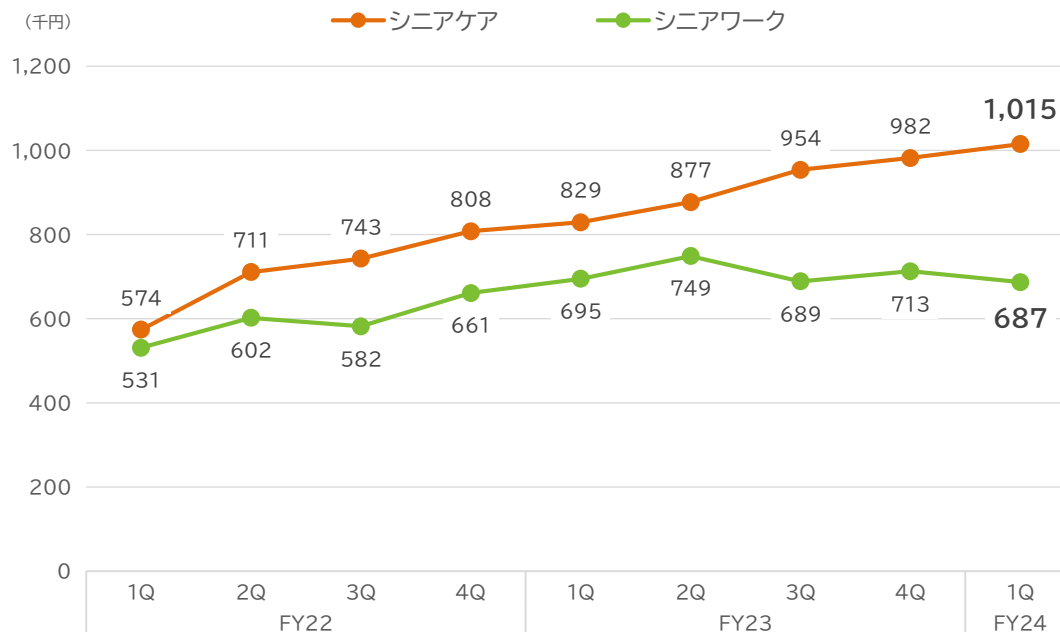
シニアケア事業における平均請求単価は安定した上昇傾向にあり、今後も継続が予想される

派遣スタッフの稼働人員数が減少傾向にあるが、クライアント先に対して平均請求単価の交渉を働きかけてリカバー

派遣スタッフの平均稼働人員数 ※1



平均請求単価 ※3



※1: 直近3ヶ月の月間総稼働人数の移動平均

※2: 55歳以上の月間総稼働人数の移動平均

※3: 直近3ヶ月の売上 ÷ (※1) = 1人あたりの平均請求単価

01		事業概要
02		2024年9月期第1四半期決算概要
03		市場環境及び成長戦略
04		Appendix

介護職希望者のキャリア相談・リスキリング・転職までを一体的に支援する新規事業を開始

外部環境



市場

- ✔ 「骨太の方針2023」の労働市場の変革。本格化するリスキリング関連事業
- ✔ COVID-19に関する特需案件はほぼ終息



業績

- ✔ 介護士・看護師派遣のストック型売上は好調
- ✔ 主力顧客のコール案件が先方都合によりボリュームダウン。当初予想と乖離

取り組みと
実績



事業

- ✔ 介護業界への転職者数1,000名(紹介者数No.1)を目標とする支援事業を開始
- ✔ BPO案件の獲得のため、営業チャネルを増やしてアプローチ中
- ✔ 障がい者雇用支援事の1棟目施設の成約件数増加。早期満床へ加速



全社

- ✔ 営業利益率を高めるため、生産性向上を目的とした社内におけるDX化を推進
- ✔ 開示資料(決算説明資料含む)の充実。前期末から決算短信の英文開示を実施

COVID-19の高利益率の特需案件が前期で終了。介護・看護派遣事業は好調を維持して、特需のカバーを図る

売上高

4,202 百万円

YoY※ 85.8 %

営業利益

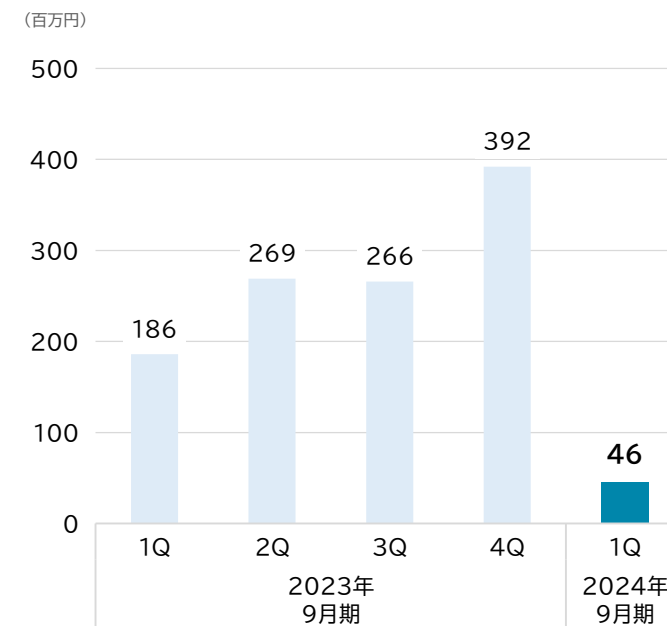
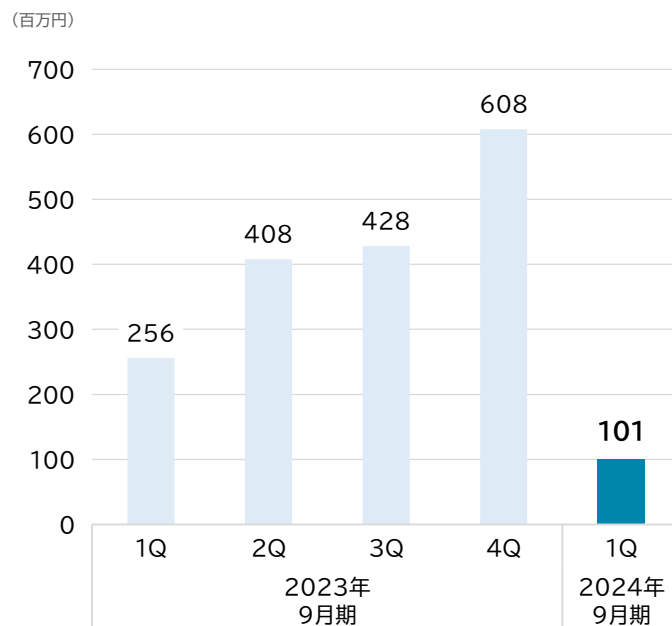
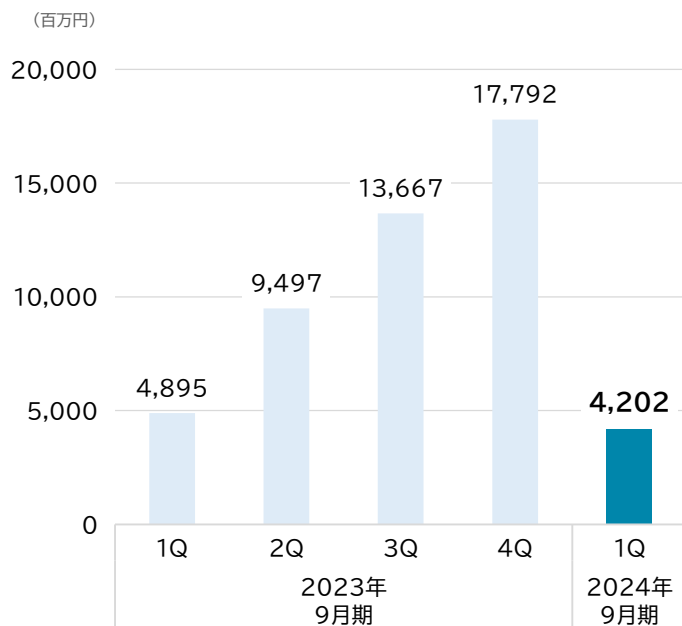
101 百万円

YoY※ 39.6 %

親会社株主に 帰属する当期純利益

46 百万円

YoY※ 25.3 %



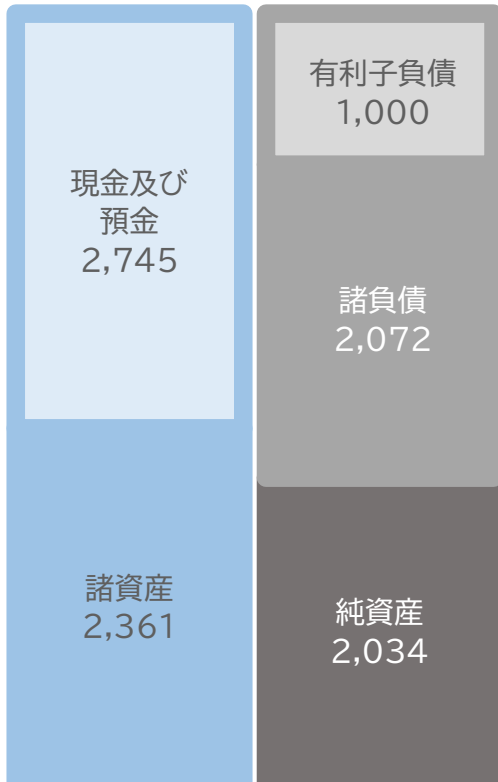
※Year over Yearの略で前年同期比

COVID-19の特需で恩恵を受けていたシニアワーク事業の売上が落ち込む。売上高の進捗率は21.5%

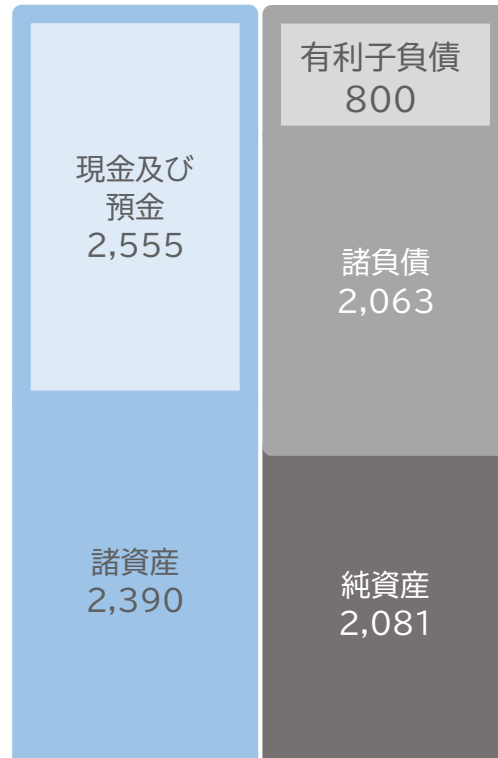
	2023年9月期	2024年9月期			
	1Q実績	1Q実績	前期比	通期業績予想 (2023/11/14公表)	進捗率
売上高	4,895	4,202	85.8%	19,500	21.5%
シニアケア事業	3,507	3,487	99.4%	—	—
シニアワーク事業	1,387	714	51.5%	—	—
営業利益	256	101	39.6%	450	22.4%
経常利益	265	98	37.3%	450	21.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	182	46	25.3%	170	27.2%
1株当たり当期純利益	21.49円	5.44円	25.3%	19.99円	—

有利子負債を2億円減らしても、現預金水準は引き続き良好。自己資本比率は**38.9%**と安全水準を維持

2023年9月期
自己資本比率 36.8%



2024年9月期1Q
自己資本比率 **38.9%**



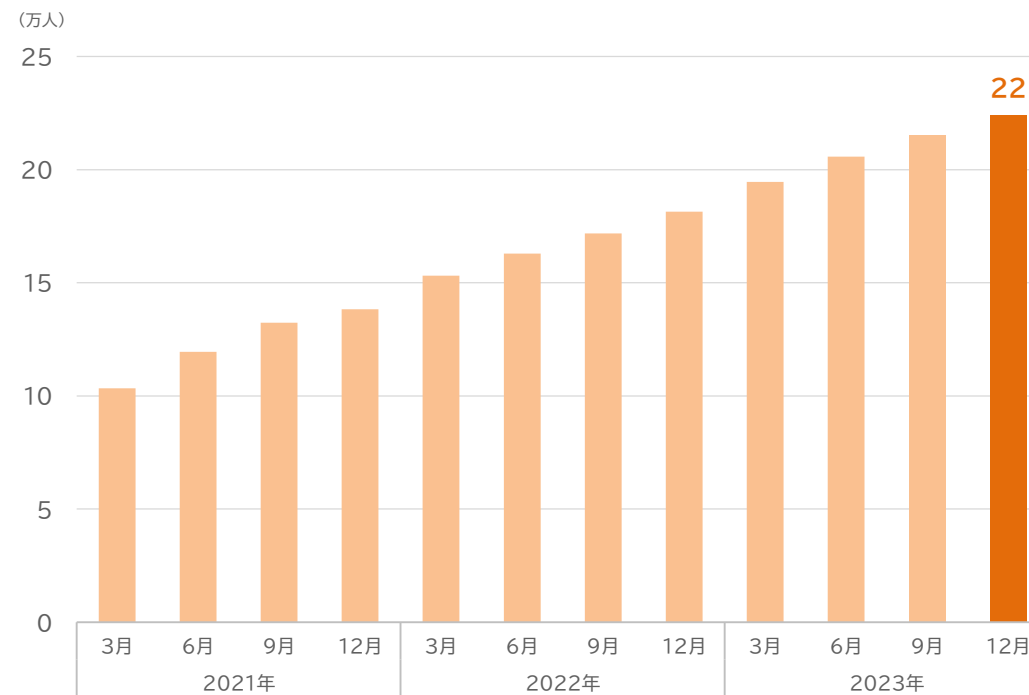
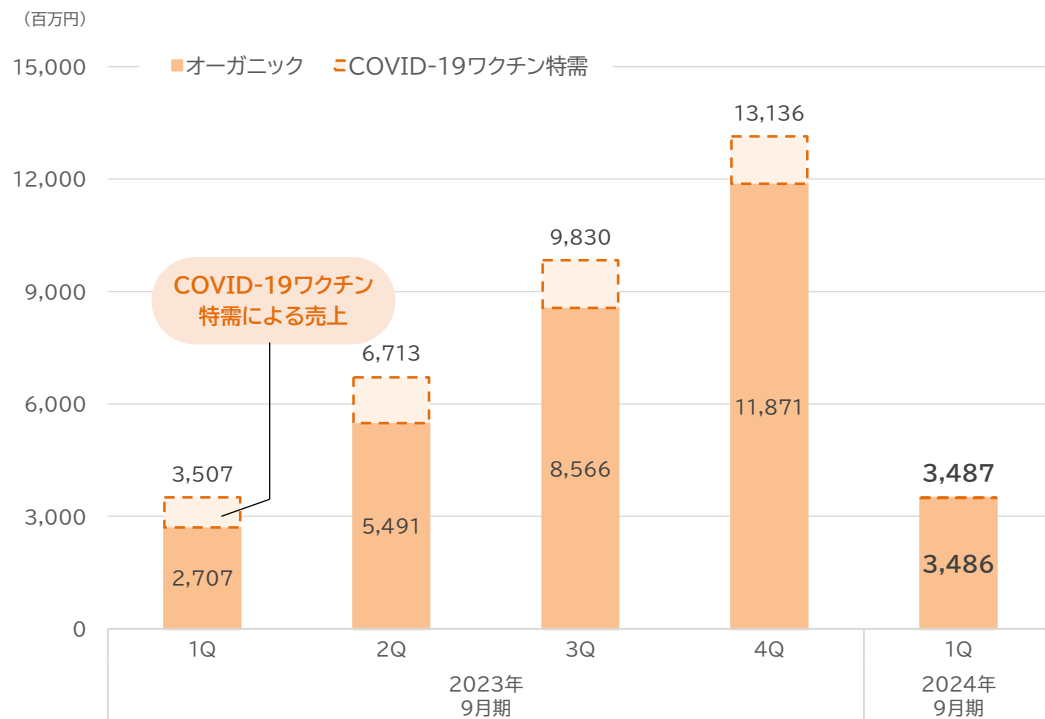
- ✓ 自己資本比率 **2.1** pt上昇
⇒利益剰余金の増加
- ✓ Net Cash(現金及び預金-有利子負債)はポジティブ

2024年9月期1Q 売上高:3,487百万円（前期実績3,507百万円:前期比99.4%）

1Q前年同四期では若干減収になるが、COVID-19の特需売上を除いたオーガニックでは前期比128.8%と大幅増
 看護・介護派遣事業ともに高い伸び率を見せているが、高単価の看護派遣事業に多く資本投下しており、若干伸び率が高い

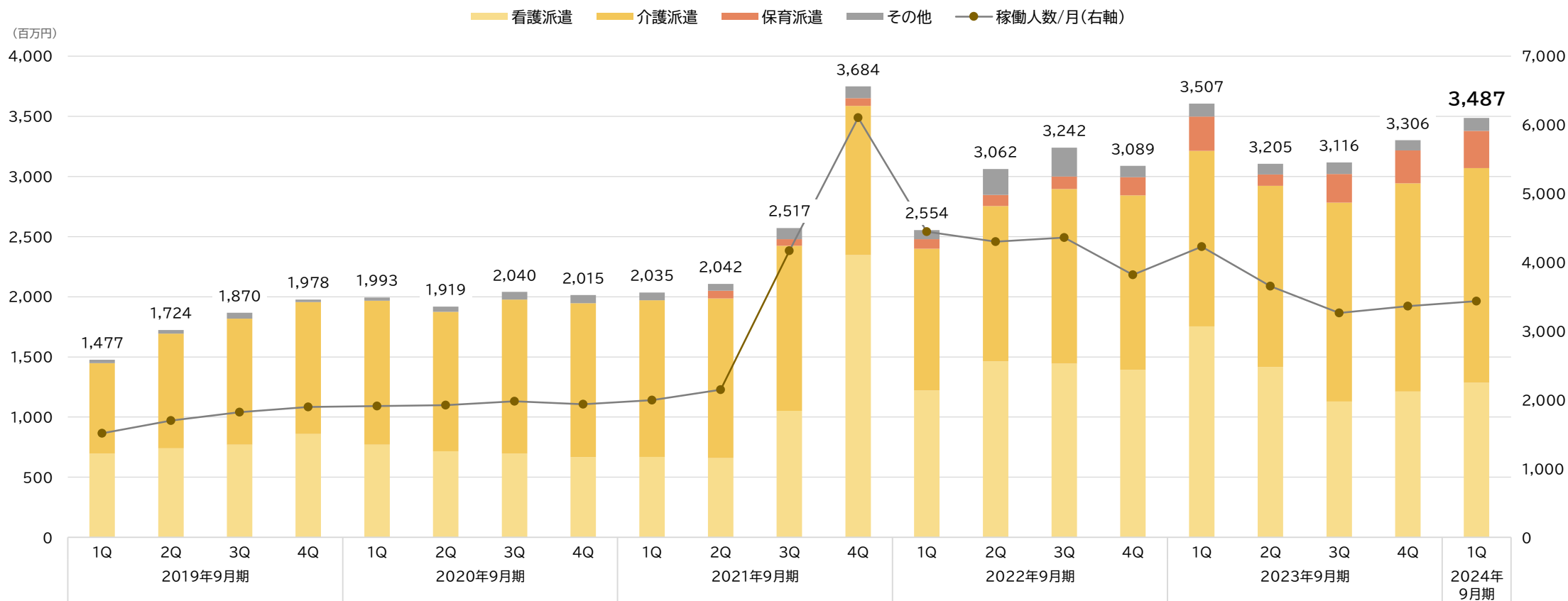
売上高

スタッフ登録数



介護派遣事業は増減率(対1Q)+22.3% シニアケア事業の約5割の売上高を占める

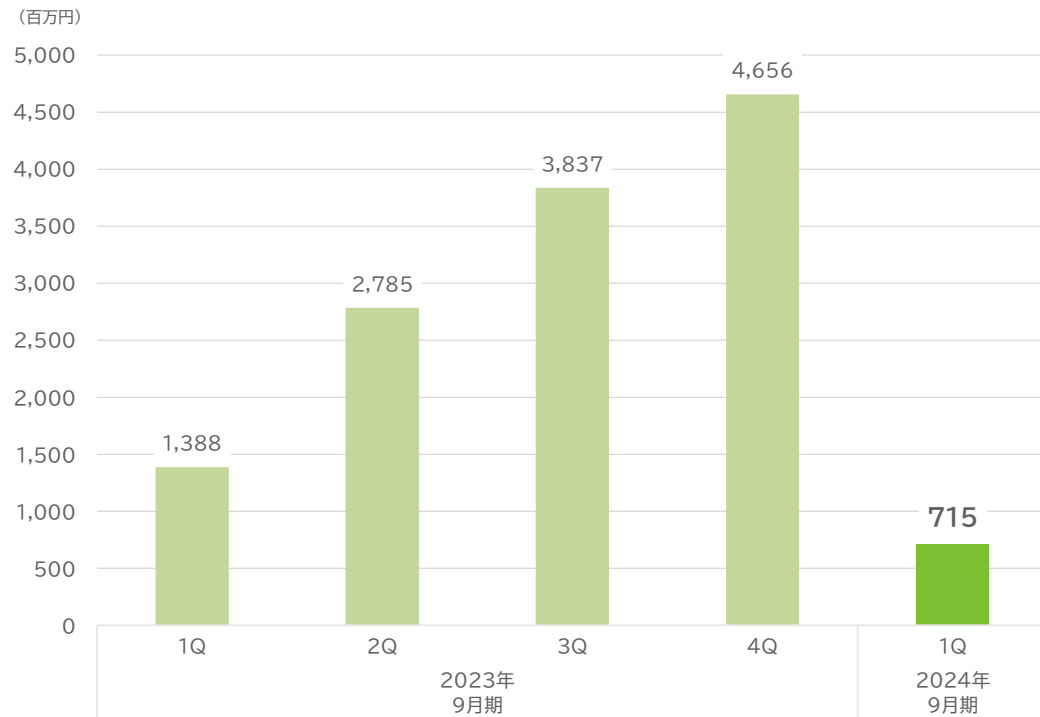
介護派遣事業の需要が増加傾向にあり、営業人員とスタッフ獲得の広告費に積極的に投下。需要の取り込みに成功
 保育領域の旺盛なニーズに対して東京・関西・福岡エリアにおいて堅調に積み上げ推移。増減率+8.8%



2024年9月期1Q 売上高:714百万円 (前期実績1,387百万円:前期比51.5%)

1Q同四半期では、COVID-19のワクチン特需案件の売上高が大半を占めており、当期はオーガニックの積み上げのみ
前期、黒字転換した障がい者雇用支援事業は当期も黒字を継続

売上高

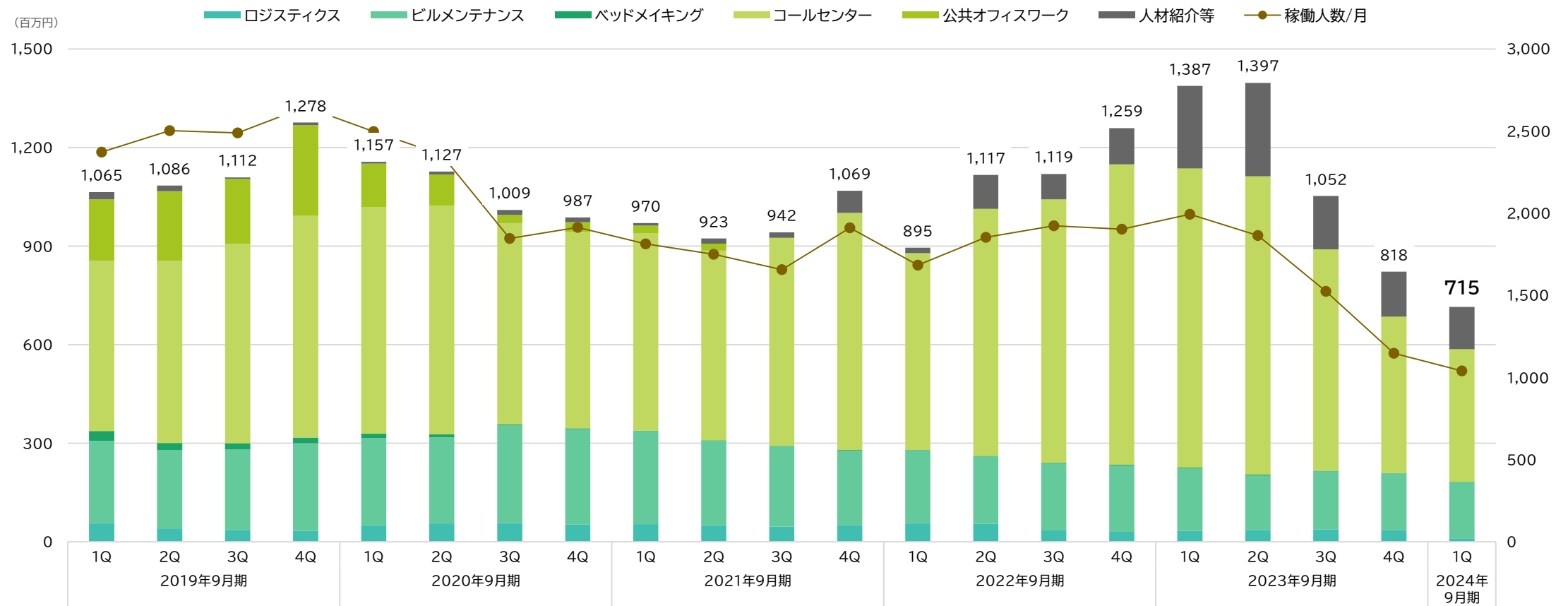


スタッフ登録数




COVID-19におけるワクチン接種の特需案件剥落による減収

COVID-19の第5類移行に伴い、ワクチン接種需要が落ち着いたことで、コールセンターの売上が急減
 特需案件の対応に人的リソースが奪われ、前期途中からオーガニックへの営業活動に戻るも、リードタイムの遅れが目立つ



01		事業概要
02		2024年9月期第1四半期決算概要
03		市場環境及び成長戦略
04		Appendix

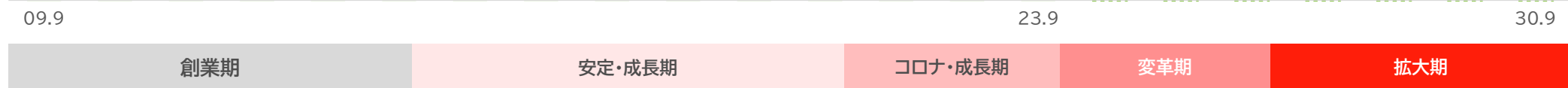
オーガニックをベースに、挑戦を繰り返すことで新たなストックサービスを拡充させ、成長し続ける

 **ダイバーシティ経営の更なる加速に貢献する企業へ**

オーガニック&コロナワクチン特需による成長

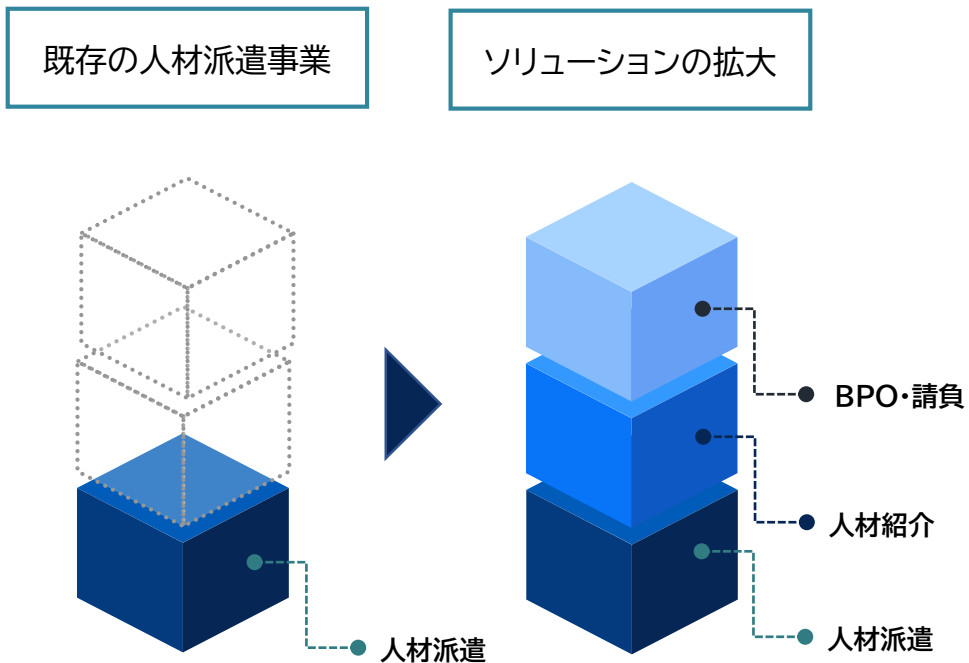
高齢化社会における医療・福祉市場への人材提供を積極的に実施
 シニア人材の活用により、日本労働力不足問題の解消に寄与
 コロナ禍においては、企業として社会的責任をもって、コロナワクチン接種会場に看護師を大量派遣

■シニアケア事業 ■シニアワーク事業

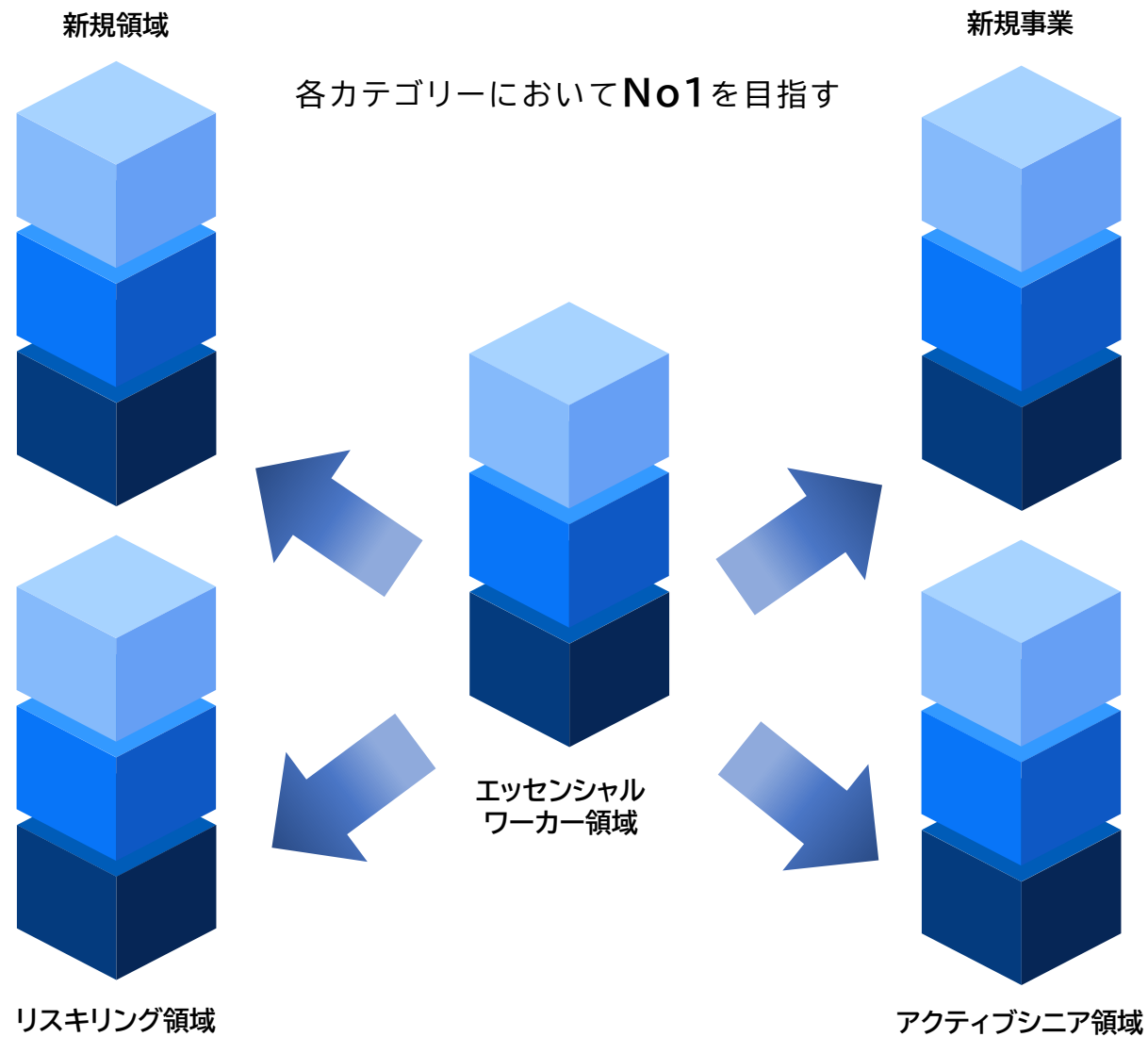


既存人材事業のスケールを推進するとともに、新規事業を確実に伸長

自社の強みである介護・看護領域をスケールアップ



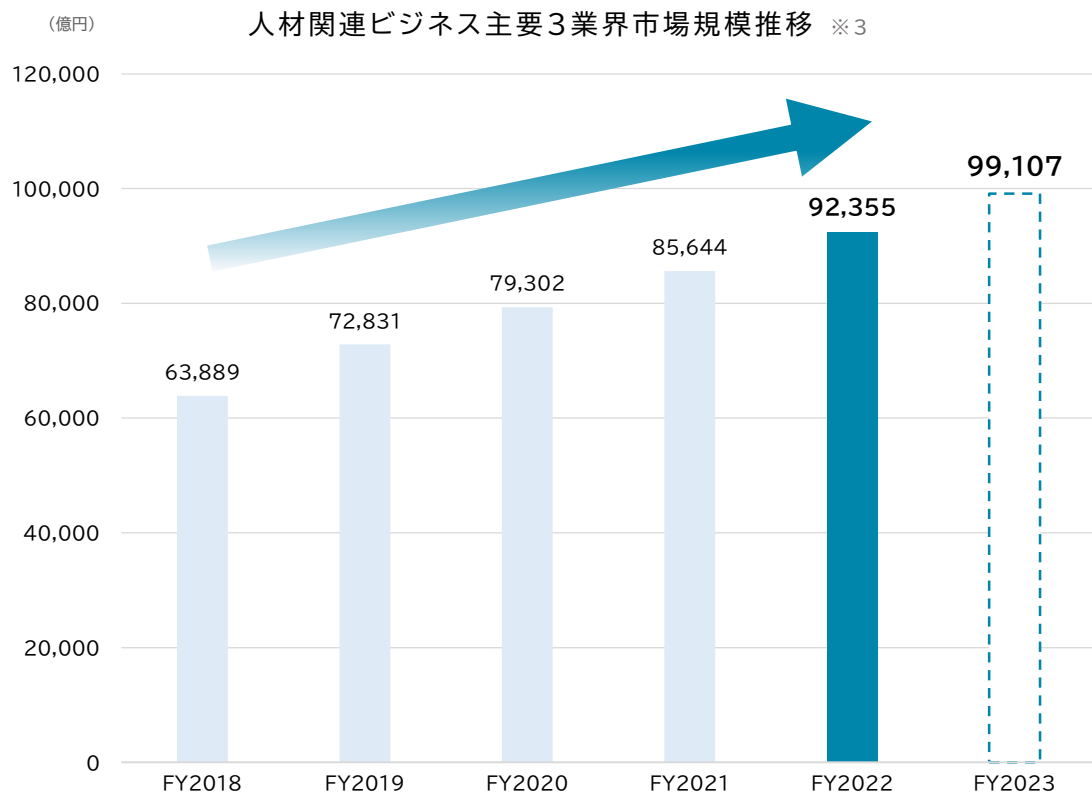
主軸となる人材派遣だけでなく、人材紹介の提供も拡大させ、領域を広げていくことでシェア獲得を図る



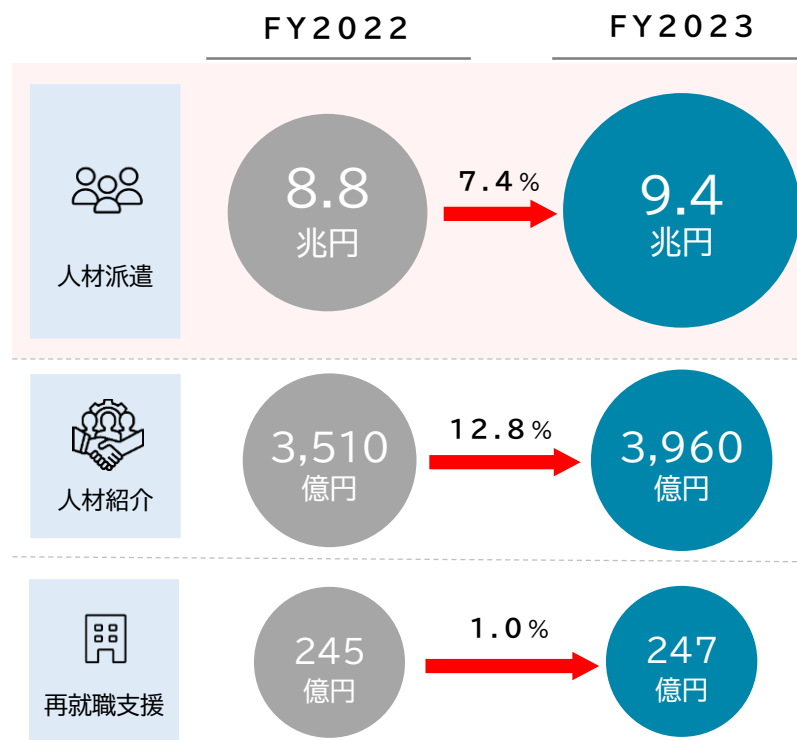
企業での根強い人材ニーズは今後も継続することが予想される

FY2022の人材関連ビジネス(主要3業界※2)の市場規模は、約**9.2兆円**。増減率+**7.6%**

ウクライナ情勢や円安などの外的要因があるものの、人材派遣市場は人材ニーズは高く、幅広い業界で需要があり堅調な推移



人材サービスの規模は圧倒的に**人材派遣市場**が最大



※1 出展：株式会社矢野経済研究所「2023年版 人材ビジネスの現状と展望」

※2 オフィスワークを中心とした人材派遣事業者、ホワイトカラー職種の人材紹介事業者、再就職支援事業者の3業界

※3 事業者売上高ベース

深刻な人手不足の解消の対応策

2030年、 人手不足は**644**万人に広がる

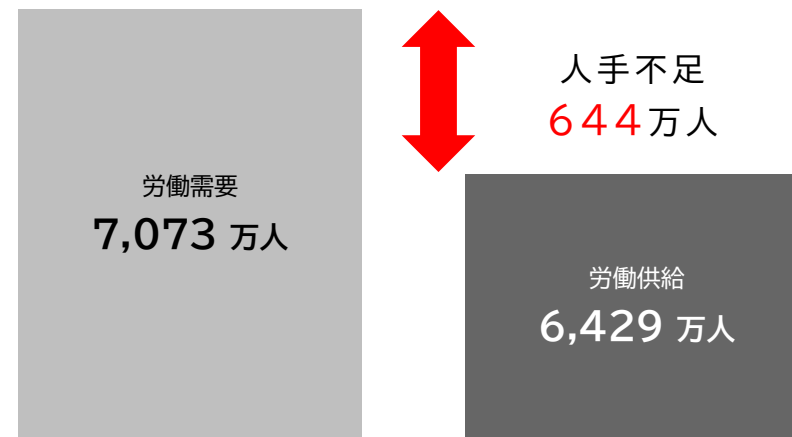
直近では「2024年問題」※1「2025年問題」※2が控えており、人材確保が、今まで以上に企業にとって最重要課題となっている

644万人の人手不足を埋めるための労働供給方法

- ・ アクティブシニアの労働力の増加
- ・ 女性の労働力を増加
- ・ 外国人の労働力の増加

キャリアの強み=アクティブシニア領域

2030年予想



※1 2024年4月1日以降、建設、運輸、医療に対して例外的に認められていた時間外労働の上限規制の猶予が終了することから発生する諸問題

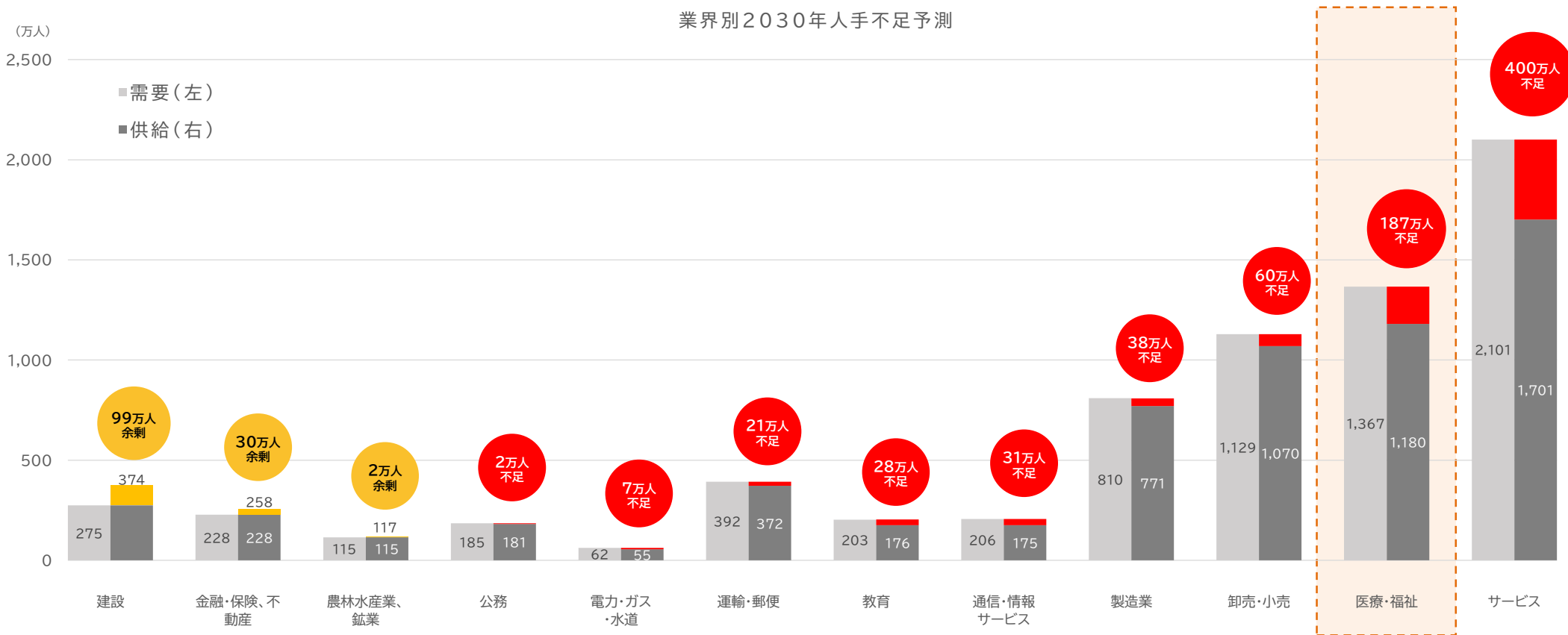
※2 日本の人口の年齢別比率が劇的に変化して「超高齢化社会」となり、社会構造や体制が大きな分岐点を迎え、雇用、医療、福祉など、さまざまな分野に影響を与えることが予想されること

※3 出展：パーソル総合研究所×中央大学「労働市場の未来推計 2030」

現在日本では人材関連の需要と供給のバランスが大きく崩れている

サービス業は離職率が高いこともあり、約400万人と大きな人手不足が見込まれる

当社のシニアケア事業における領域である**医療・福祉**も、サービス業に次いで人手不足に苦しみ、約187万人にのぼる



※1 出展：出展：パーソル総合研究所×中央大学「労働市場の未来推計 2030」

リスキリング※1を通して、医療・福祉の人手不足という社会問題を解決



キャリアスマイル ケアカレッジ

キャリア相談、リスキリング、
転職まで一貫してサポート

介護職に特化した全国最大規模の
資格取得・転職支援サービス



経済産業省
リスキリングを通じた
キャリアアップ支援事業

受講料の**最大全額**を
受講者に還元※2

※1 社会環境や働く環境の変化にあわせて今後、仕事に必要なとされるスキルを習得する行為
 ※2 講座終了発行後50%キャッシュバック(※講座の受講費用の1/2相当額(上限40万円))
 ㈱キャリア経由で転職後、1年間継続的に就業している方20%キャッシュバック
 (※追加的に講座の受講費用の1/5相当額(上限16万円))
 上記を含め、指定の条件を満たした方、残り全額を㈱キャリアからキャッシュバック



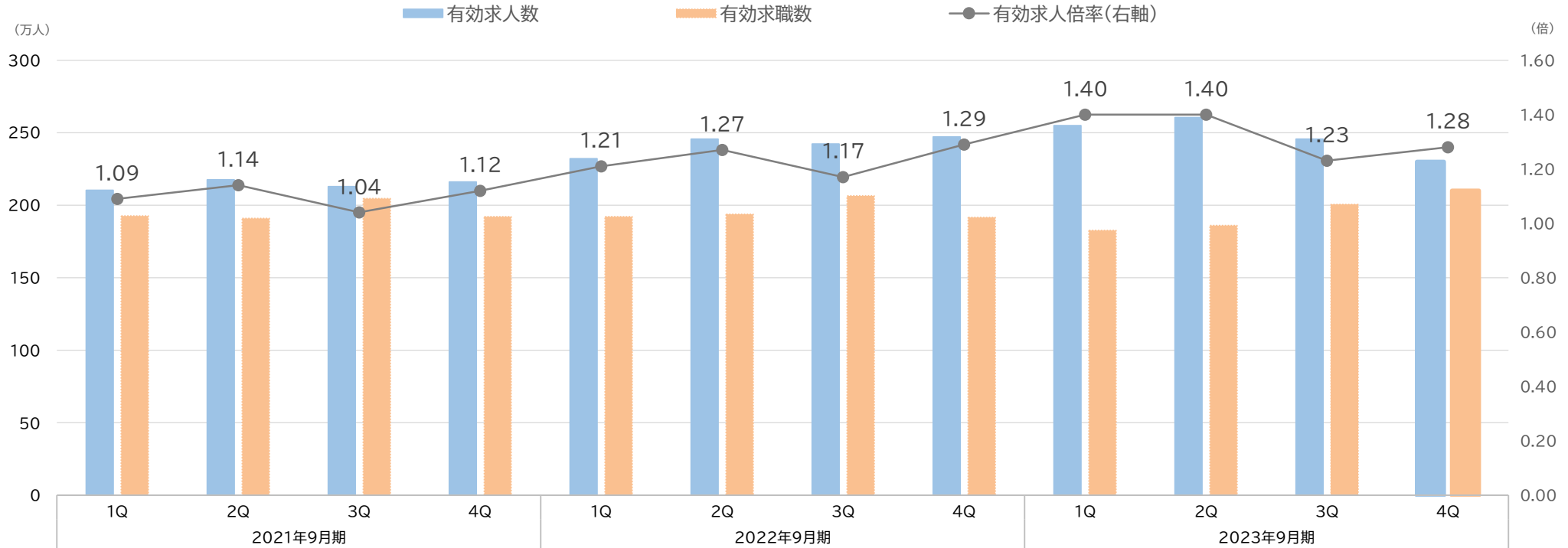
介護職員初任者研修	介護福祉士実務者研修	喀痰吸引等研修	同行援護従業者養成研修
在宅・施設を問わず、介護職として働く上で基本となる知識・技術を習得する講座	介護職員として働くうえで必要な介護過程の展開や認知症等について学ぶことができ、介護の専門家としてより質の高い介護を提供するためのスキルを磨くことができる講座	医療ケアである「痰の吸引」や「経管栄養」を行なえる介護職員を養成するための研修	視覚障害者の外出をサポートする「同行援護」について、適切な介護方法を学習するための研修

※一般過程のみ

01		事業概要
02		2024年9月期第1四半期決算概要
03		市場環境及び成長戦略
04		Appendix

2024年12月の有効求人倍率は1.27倍で、前月と比べて0.01ポイント低下

営業の職業、接客・給仕の職業、介護サービスの職業、建築・土木・測量技術者が高い傾向
 その他職種と比べると、一般事務の職業については有効求人倍率が低い傾向

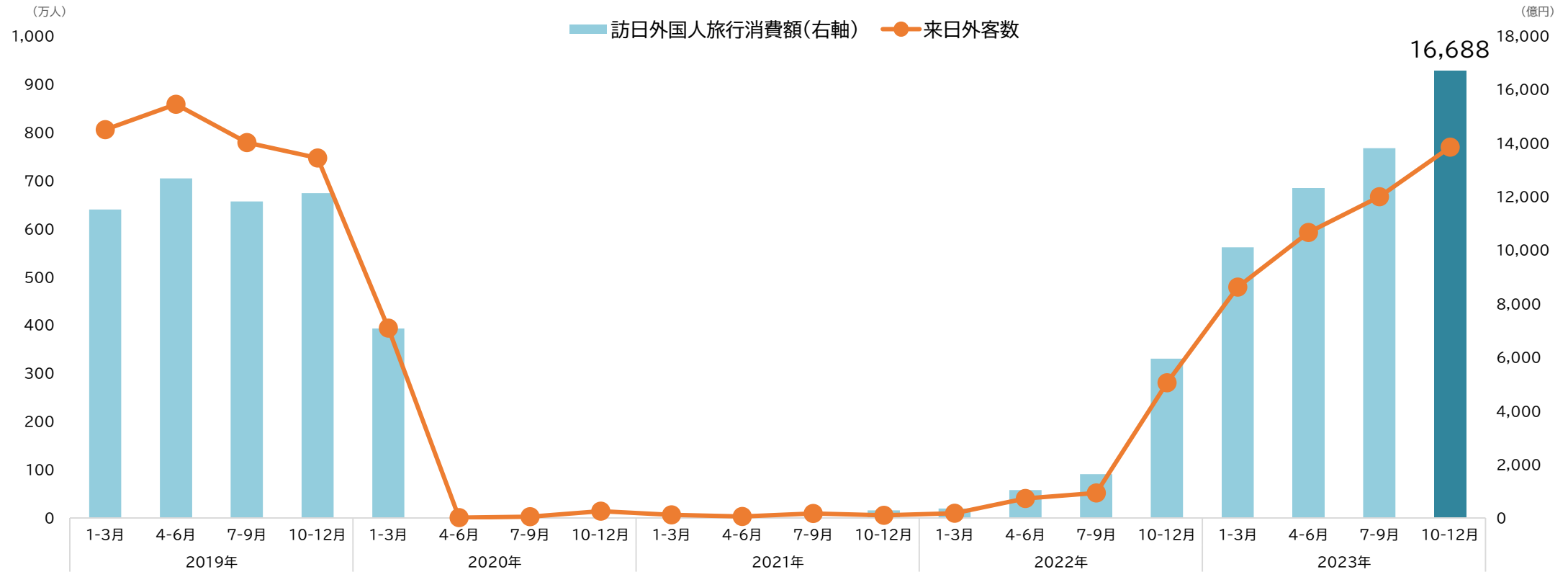


※1 総務省統計局「労働力調査」を元に株式会社キャリアにて作成

※2 厚生労働省「労働者派遣事業報告書」を元に株式会社キャリアにて作成

2023年の訪日外国人旅行消費額は5兆円超で過去最高

円安により、日本国内の商品やサービスの割安感が強まり、外国人観光客による消費（インバウンド消費）を増加



※1:国土交通省 観光庁「訪日外国人消費動向調査」を元に株式会社キャリアにて作成

※2:日本政府観光局(JNTO)「訪日外客統計」を元に株式会社キャリアにて作成

※3:2020年1月期～2021年9月期の「訪日外国人消費動向調査」の調査は、新型コロナウイルス感染症の影響により調査を中止しており試算していません

将来の見通しに関する注意事項

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合でも、当社は本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

お問い合わせ先

株式会社キャリア IR担当

E - m a i l

ir@careergift.co.jp

I R サ イ ト

<https://www.careergift.co.jp/ir/>